

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 長 田 昭 夫

〒680 - 8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857)27 - 5566

衆議院議員総選挙 〓 小選挙区 〓 推薦候補者を決定

鳥取県医師連盟は、十月十六日、鳥取県医師会館において執行委員会を開催し、十一月九日投票の衆議院議員総選挙における推薦候補者として、鳥取一区は石破 茂氏、鳥取二区は相沢英之氏（いずれも自民・前）を決定した。

会議は栗原議長の司会により開会。冒頭、長田委員長から「本日は医師連盟組織の見直し、衆議院選挙対策として推薦候補者の決定をお願いしたい。また、来年度夏の参議院議員選挙の日医連推薦候補者に日本医師会常任理事の西島英利氏が決定したのでご支援をお願いしたい」と挨拶があった。続いて、議事に移った。議事項目とその概要について以下のとおり。

県医連常任執行委員会 の開催報告

八月三十日、鳥取県医師会館において開催した。主な議事は来年度に予定されている参議院議員選挙対策で、比例区に立候補の意向を持つ医師会員の取り扱いについて協議した。日医の中央情勢などを大局的に判断した結果、県医連としては日医へ推薦しないことを決定した。翌日、本人へ伝えた。

日本医師連盟執行 委員会の開催報告

八月三十一日、日本医師会館において開催され、長田委員長、大石副委員長が出席した。主な議題は、第二十回参議院議員通常選挙の候補者決定であった。

候補者については、公募制としてあらかじめ全国の医師会へ適任者がいれば推薦してほしい旨の通知が出されており、それにより西島英利氏（福岡県医連推薦）と国分清和氏（奈良県医連推薦）の二名の推薦届けがあった。会議では、投票により決定してはどうかとの意見もあったが、日医連が一枚岩となつて選挙に臨むうえで好ましくないとの意見があり、また推薦した奈良県医師連盟、有山委員長から国分氏推薦を取り下げるとともに、本人がそれを了承し、立候補辞退したことから、

衆議院選挙対策 会議の出席報告

九月二十三日、日本医師会館において開催され、長田委員長、大石副委員長、米本・魚谷両常任執行委員（一区、二区代表）が出席した。会議には各県の医師連盟委員長、小選挙区責任者など約四百七十名が参加し、熱気溢れる会議であった。坪井日医連委員長から「選挙対策本部を設置した。我々の医療政策を実現するためには選挙でできるだけの票を得ることが重要である。理念実現のため選挙にエネルギーとパワーを注いでほしい」と挨拶があった。

満場一致にて西島英利先生（日本医師会常任理事）を日医連推薦候補者とすることを機関決定した。西島英利先生の略歴、政策目標は別記のとおり。

続いて、宮崎秀樹、武見敬三両参議院議員から激励の挨拶、関原福岡県医連委員長から推薦の言葉、さらに全国八ブロックの代表が順次壇上に立ち、それぞれ力強い激励の言葉が述べられた。

その後、西島氏から政治家としての姿勢や政策目標を掲げて、決意表明があった。最後に、参加者全員がガンパローコールを声高らかに発し、西島氏の必勝を決意した。

衆議院総選挙対策

衆議院は十月十日解散され、十月二十八日公示、十一日九日投票で総選挙が実施されることとなった。立候補予定者は鳥取一区が3人、鳥取二区が4人の名前が上がっている。

そのうち医師連盟に対し推薦依頼の来ている石破茂、相沢英之両氏の推薦の

参議院議員選挙対策

取り扱いについて協議、意見交換を行った結果、賛成多数により両氏の推薦を機関決定した。近く推薦状を届けることにしている。

また、中国ブロック比例区に立候補予定の平林鴻三氏の推薦もあわせて決定した。

来年夏に予定されている

参議院議員選挙では、日本医師連盟推薦の西島英利氏が自民党比例区の候補者に決定している。今後の支援対策として本連盟では、時局講演会の開催、後援会員の獲得などを予定している。今後、日医連から具体的指示があるが、その節にはぜひともご協力、ご支援をお願いしたい。

組織の見直し

従前からの執行委員会の

席上、規約の見直し、総会の設置などの意見が寄せられている。今回、規約の一部改正案をあらかじめ提示し、協議・意見交換を行った。

意見として、最高議決機関の明確化、総会成立の定足数の問題、動議提出の取り扱い方法などが出され、次回の執行委員会までに検討することとした。

西島英利氏を 国政の場へ

= 推薦の言葉 =

日本医師連盟 委員長 坪井 栄孝

西島英利君は昭和五十二年日本医科大学を卒業後、地元小倉で実地医家として永年地域医療に尽力し、さらに平成十年より日本医師会常任理事として活躍しております。医療界は社会保障制度改革の真っ只中にあり、国民は今こそ医師である我々に財政優先の管理医療から国民を守ることを強く求めております。

その意味で、西島君の

今日までの業績を顧みる
とき、国民の期待に十分
応え得る有為な人材であ
ると確信いたすものでご
ざいます。

国民の大きな負託に
応えるため、日本医師連盟
が一丸となって西島君を
国政の場に送り出そうで
はございませんか。会員
の皆様のご支援、ご協力
をお願い申し上げます。

参議院議員 宮崎 秀樹

まず、皆様の私に対するご厚情に感謝申し上げます。そのご期待に十分応えられなかったことをお詫びいたします。このたび、来年の参議院選挙に西島英利先生の擁立を決定されましたことは、出馬を辞退いたしました私にとりましても誠に喜ばしく、かつ力強いものがございます。

西島先生が来年晴れて
国政に臨めますように、
どうか私同様のご支援を
賜りますようお願いいた
します。

わが国は、今まさに歴史の転換期にさしかかっており、医療界も大変厳しい環境にあります。西

参議院議員 選挙比例区

西島英利氏を国政の場へ

国民の立場に立った 真の医療制度改革を目指します

西島英利氏 (55) 経歴

昭和23年 4月7日生れ

52年 日本医科大学医学部卒業

59年 医療法人 小倉蒲生病院小倉南看護
専門学校理事長

60年 久留米大学医学部神経精神医学講座
講師

平成2年 北九州市小倉医師会理事

6年 北九州市医師会理事

平成10年 日本医師会常任理事

11年 厚生省公衆衛生審議会委員

13年 厚生労働省保健医療情報システム検討
会委員

〃 厚生労働省社会保障審議会
(障害者部会) 委員

15年 厚生労働省中央社会保険医療協議会委員

1. 政治家としての姿勢

- 変えるべきものを変える勇氣と守るべきものを守る器量をもった政治家でありたいと願っています。
- 医師・病院経営者・日本医師会常任理事という経験を生かして、常に現場に根ざした政策づくりを目指します。
- 官僚のシナリオに頼る国会議員ではなく、自分の頭で考え、企画し、行動する議員でありたいと思います。

2. 政策の目標

- 医療は生命の安全保障であるという理念のもとに、憲法に定める国民の健康権を確かなものとする「健康基本法」を制定します。
- 国民が安心して健康長寿を迎えられるために、高齢者医療制度を創設します。
- 国民のニーズに的確に対応すべく介護保険制度の見直しを行います。
- 国民皆保険のもとで、フリーアクセスと現物給付の機能をより強固なものとして、医療保険をより使いやすい制度に進化させます。
- 国民が安心して医療を受けることができる環境づくり、医療関係者が安心して医療を提供できる環境づくりに全力を尽くします。
- 遺伝子研究等による医療技術の進歩のためには、個人情報保護等のインフラの整備がきちんと行われることが前提となります。そのために「個人情報保護法」にかかわる医療分野の個別法の制定を行います。
- 医師が医療に専念できる環境づくりのためにIT化を推進するとともに、関連法規を整備します。
- 医療提供体制を防衛し、医療機関経営の高度化と患者の安全を守るために、必要な医療費財源を全力で確保します。
- 孤立こそが精神衛生上の最大の敵であり、一人ひとりの国民が孤立しない社会ネットワークづくりのために貢献します。



私は「医療」から、
この日本を元気にしたい。

挑む医師。 西島英利

推薦：日本医師連盟 自由民主党公認